

事業番号	03 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	コンプライアンスの推進	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課				
		実施期間	H27～	E-mail	comp-gyosei@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策									

### 1 現状と課題

- ・職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分ごと」として捉え、ルール軽視の発想の根絶や、ミスを含めた仕事上の不安を臆せず相談できる、風通しのよい職場環境づくりに向けた一層の取組が必要。
- ・不適正な事務処理を防止するため、内部統制制度について管理監督者を含む全職員が制度を理解し適切に運用することが必要。

### 2 事業目的

- ・法令に基づく業務執行を基本としつつ、単なる法令遵守という受け身の姿勢に留まらず、社会の環境変化に敏感に対応し、必要ならばルール自体の見直しに柔軟に取り組むことにより、県民や社会からの要請に的確に応えることができる組織を目指す。
- ・「県民起点」のコンプライアンス意識改革、風通しのよい対話にあふれた組織づくり（ハラスメント対策）、適正な事務処理のための仕組みづくり（リスクマネジメント）の一体的な取組により、県民の信頼と期待に応えることができる組織を目指す。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

#### ①職員研修の拡充

- ・リスクマネジメントを踏まえたグループワークを主体とした所属長等研修を開催
- ・近年増加するハードクレームへの適切な対応について組織的に取り組むため、職員向け県民対応研修会を開催

#### ②各所属における風通しのよい職場環境づくりの取組

- ・コンプライアンス推進月間において全所属で不適切事案に係る問題点の意見交換等の取組を集中的に実施
- ・相談専用電話や職員相談員による個別対応の実施、外部専門家を講師に起用し研修を実施

#### ③内部統制制度の実施体制の充実と確実な運用

- ・全所属による内部統制制度の確実な運用と定着、及び内部統制評価報告書の策定と議会への提出
- ・コンプライアンス推進参与の指導・助言等により、リスクマネジメントを強化

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	所属長等研修への参加者数	人	198	230	↗	210	↘	200	達成	社会環境が変化している中、コンプライアンスの推進のためには、管理監督者が本県の目指すコンプライアンスについて十分理解することが必要であることから、対象者250名の8割を目標値として設定。	
②	上記研修アンケートでの「理解できた」職員の割合	%	93	94	↗	97	↗	90	達成	研修への参加だけでなく、理解・習熟が重要であることから、過去の理解度を参考に目標値を設定。	
③	指標なし										

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	4,447	755	5,202	5,195	4,572	3.8
R3年度	0	4,094	0	4,094	4,087	3,665	3.8
R2年度	0	3,068	378	3,446	3,440	3,220	3.8

事業番号	03 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	コンプライアンスの推進		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課

## 6 主な取組実績と成果

### ①職員研修の拡充

- ・所属長等を対象としたグループワーク型の研修を実施した。  
（ハラスメント研修においてグループワーク形式を初めて導入し、3回開催）
- ・本庁課長、現地機関の課長等を対象としたコンプライアンス研修を実施した。  
（新任課長に限定せず、本庁の全課長を対象に実施）



グループワーク研修（イメージ）

### ②各所属における風通しのよい職場環境づくりの取組

- ・コンプライアンス推進月間において全所属で上司と職員との面談や意見交換を実施した。県機関で前年度実際に発生した不適切事案を題材とし、事案の原因や議論のポイントも具体的に示して議論を促した。実施報告では、身近で起こり得る出来事として改めて認識を深めるきっかけになった等の意見が寄せられ、職員がコンプライアンスを自分事として意識することに繋がった。
- ・各所属でハラスメント事例集を活用した所属内研修等を実施した。

### ③内部統制制度の実施体制の充実と確実な運用

- ・内部統制制度に基づくリスクマップ及び行動計画が各部局で策定され、行動計画に基づく対策を講じつつ、業務が遂行された。
- ・また、令和3年度の内部統制評価報告書を策定し、監査委員の審査意見書を付して11月定例会に提出した。

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	所属長等研修への参加者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
所属長等研修（ハラスメント研修）を、理解を深めるためグループワーク形式にしたこと等により、参加者数が令和3年度に比べて減少したものの、新任課長級研修の対象を本庁の全課長に拡充したことで目標値を上回った							
指標②	上記研修アンケートでの「理解できた」職員の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
所属長等研修（ハラスメント研修）で、ハラスメント事例に関する意見交換を行うグループワークを取り入れたことで、理解が促進され、目標値を上回った							
指標③	指標なし	R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和4年度に発生した不適切事案では、担当者任せで周囲のサポートが不足していた、係としての進捗管理が不十分だった、業務が特定の職員に偏っていたなどの要因が見受けられたことから、職員全体へのコンプライアンス意識のさらなる浸透と取組の徹底が必要。
- ・ハラスメント研修では、グループワークの導入により他の所属の取組等を共有でき、理解が促進された一方で、実際のハラスメント事案を題材とした、より実践的な研修を求める声や、適切な指導とハラスメントの区別を一般職員も含めて周知することを求める声が寄せられ、研修内容の引き続きの改善が必要。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・担当者任せの防止や、業務の適切な進捗管理等を徹底するため、令和5年3月に留意事項通知を発出した。令和5年度は、本通知に基づく取組をコンプライアンス推進本部会議等を通じて各所属に継続して働きかけるとともに、7月から9月のコンプライアンス推進月間では、全ての所属において取組の実施状況、課題、対策について係内対話を行うことで、コンプライアンス意識の浸透を図る。
- ・所属長等を対象とするハラスメント研修では、事案への具体的な対応を学べる内容を検討し、さらに一般職員向けのプログラムを追加するなど、研修内容の充実と対象者の拡充を図る。

事業番号	03 03 01	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>コンプライアンスの推進</b>		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>職員の意識改革</b>		3,220 千円	3,665 千円	4,572 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	コンプライアンス推進本部会議の開催	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部局長で構成する本部会議でのコンプライアンス推進参与による指導・助言等</li> <li>推進本部会議 2回</li> </ul>		
2	職員研修の実施	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理監督者等に対するコンプライアンス研修を実施</li> <li>・外部講師による迷惑クレーム対応の基礎知識等の研修会を開催</li> </ul> （コンプライアンス研修）所属長等 8回、現地課長 1回 （クレーム対応研修）2回（東北信・中南信）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>組織の風土改革</b>		千円	千円	千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	コンプライアンス推進月間の実施	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての所属において、一定の期間内の1か月間を設定し、不適切事案に係る問題点の意見交換等の取組を集中的に実施</li> <li>6月～8月に全所属で実施</li> </ul>		
2	ハラスメント防止対策の拡充	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談専用電話や職員相談員による個別対応の実施、外部専門家を講師に起用し研修を実施</li> </ul> 所属長等へのハラスメント研修 3回（細事業1の所属長等研修 8回の内数）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	<b>適正な事務処理のための仕組みづくり</b>		千円	千円	千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	内部統制制度の運用	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全所属による内部統制制度の確実な運用と定着を図るとともに、内部統制評価報告書の策定と議会への提出を行う。</li> <li>内部統制評価報告書（11月定例会報告）</li> </ul>		
2	リスクマネジメントの強化	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部局長で構成する本部会議でのコンプライアンス推進参与による指導・助言等（上記コンプライアンス推進本部会議の再掲）</li> <li>推進本部会議 2回（再掲）</li> </ul>		